

佐伯市本匠小川で、国の天然記念物の二ホンカモシカが見つかりました。

佐伯市本匠で見つかった二ホンカモシカ。右の後ろ足がわなに掛かっていた（小野信義さん提供）



佐伯市本匠小川で、国の天然記念物の二ホンカモシカが見つかった。祖母・傾山系の標高の高い場所に生息地があることは確認されているが、20キロ以上離れた本匠で見つかることは珍しいという。

20キロ以上遠征？

見つけたのは近くの小野信義さん（76）。8日午後3時ごろ、民家から約300メートルの斜面の岩場に設置した、くくりわなにカモシカが掛かっていた。体長約1メートル、体重30～40キロ。友人2人に手伝つてもらい、すぐ元気よく走って山に帰ったとい

い。野獣を始めて30年以上の小野さんも、カモシカを見るのは初めて。最初は何が掛かっているのか分からなかつたという。「今年の冬は雪が多かったので山に食べ

物がない、下りてきたのではないか」と話した。

県カモシカ調査委員の真柴茂彦さん＝同市中の島＝によると、祖母・傾山系に近い同市宇目でまれに目撃されることはある。「本匠で見つかったという話は記憶がない。かなり珍しいのではないか」と話している。

- ①二ホンカモシカはどうして山を下りてきたと想像できますか。

佐伯市本匠

“珍客”ニホンカモシカ



(2014年5月11日朝刊23面)

- ②ニホンカモシカのことを調べよう。

- ③ほかの天然記念物の動物を調べてみよう。